

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ミカンハダニの発生状況と防除対策（技術情報第11号）について（送付）
ミカンハダニの発生が多くなっています。今後の発生に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 対象病害虫 ミカンハダニ

2. 対象作物 カンキツ類

3. ミカンハダニの発生状況

- 1) 本年のミカンハダニの発生状況は、平年（過去5年平均）に比べ、3～7月までやや少なく経過していたが、8、9月は平年並みとなり、10月以降は増加の傾向を示している（図1）。
- 2) 11月の巡回調査では、ミカンハダニの寄生葉率が36.2%（過去5年平均8.5%）、10葉当たりの寄生虫数は11.7頭（過去5年平均1.9頭）と多発生であった。
- 3) 12月の気象予報（11月28日発表）では、気温が高い予想なので、ハダニの活動に好適な条件である。

4. 防除上の注意事項

- 1) ハダニの発生が多い園では、収穫時に持ち込まれて貯蔵中に果実を加害することがあるので、収穫前に薬剤散布を行って防除する。なお、抵抗性の発達を防ぐため同一薬剤の連用を避ける。
- 2) 薬剤防除にあたっては農薬の収穫前使用日数および使用回数等に十分注意し、安全使用に努める。

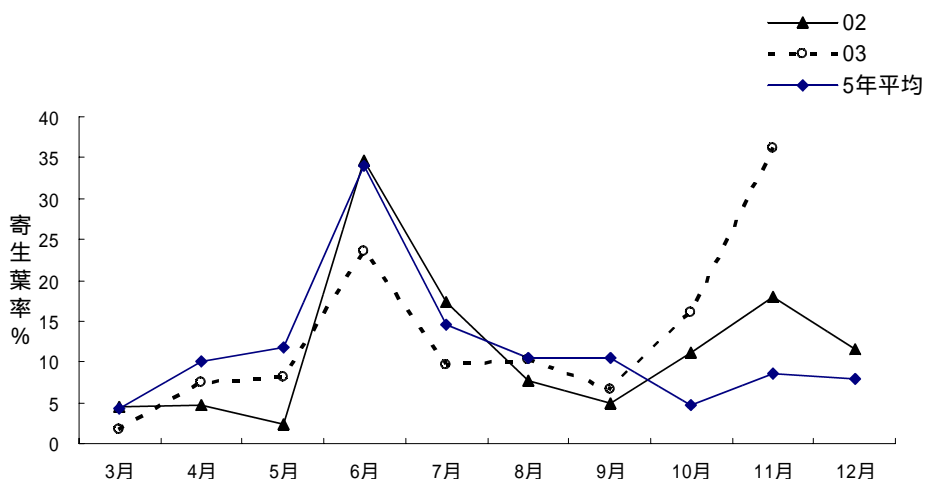


図1 ミカンハダニ寄生葉率の推移

（温州みかん園 14カ所、甘夏園 12カ所の巡回調査結果による。）